



佐世保市立楠栖小学校



か 考え抜く子ども
が がんばり抜く子ども
や やわらかな心の子ども
き 郷土を愛する子ども

所在地 佐世保市小佐々町楠泊 526 番地
校長 片渕 満里子
児童数 150名 学級数 7学級

1 目的

小中一貫型コミュニティ・スクールの推進及び地域教育力を活用した教育活動の充実

2 実践内容

< 地域交流活動 >



老人会との昔遊び・交流給食
園児との磯遊び（1年）



地域人材を活用した野菜づくり
町たんけん（2年）



金子真珠見学 いのちの授業
（3年）



アマモの移植・カサゴの稚魚放流
（4年）



海洋体験学習 海洋調査
保育所との交流活動（5年）



水産教室 カサゴの稚魚放流
お魚教室 門松づくり（6年）

<地域ボランティア>



放課後補充学習



朝の読み聞かせ



丸付け先生



学習支援

<小中連携・地域連携>



乗り入れ授業
（図工）



乗り入れ授業
（理科）



乗り入れ授業
（国語）



乗り入れ授業
（算数）



乗り入れ授業
（英語）

学園交流会



中学生による
運動会入場
行進演奏



もちつき会



地域清掃
ボランティア



かがやき会議

3 成 果

- 郷土を愛する子どもを育てることを目標に、「地域のことを」「地域と一緒に」「地域で学ぶ」実践を、今年度も地域学習カリキュラム一覧表に沿って、全学年で展開した。地域教材や地域人材を積極的に活用し、本校独自の特色ある教育活動を展開することができた。児童は地域のひと・もの・こととの関わりや体験活動を通して、地域のよさを実感している。また、年間を通して多くの地域人材やボランティアスタッフとの交流も深めている。

アンケート内容	本校	全国	差
授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。	92.3	74.4	+17.9

【H31 全国学力学習状況調査：質問紙より】

【全校】学習支援 楠っ子タイム丸付け先生 読み語り 放課後補充学習 PTA もちつき会
【1年】磯遊び 芋栽培 昔遊び 交流給食
【2年】芋栽培 野菜作り 人権の花 町探検
【3年】地域見学（小佐々漁協・地域商店街・金子真珠・森山造船所・郷土資料館）
【4年】海洋体験学習 水産教室 アイマスク体験
【5年】海洋体験学習 環境学習 ウエストテクノ工場見学 保育所との交流
【6年】水産教室 おさかな教室 門松づくり

【R1 地域人材との関わり】

- 小佐々地区3校で構成される「海光る町学園」の今年度の重点実践事項の一つとして、「おさかなあいさつ」を掲げ取り組んできた。保護者、地域への啓発と児童や職員の意識高揚を図り、6年児童が学校入口で挨拶運動を展開し、5年生へと引き継いでいく体制もできた。



地域 みんなで



小佐々地区小中一貫
コミュニティ・スクール

アンケート内容	本校	全国	差
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	94.0	80.9	+13.1

【H31 i-check より】

- 昨年度から小中一貫教育（乗り入れ授業）に積極的に取り組んできた。今年度はその取組が多様な教科に広がりを見せるとともに、英語は毎週、算数は毎月開催を実現した。児童においては、中学校への期待が膨らむと同時に、不安が取り除かれていった。また、中学校生徒の小学校行事への参加や小中合同地域ボランティア清掃などは、準備等も段取りよく行うことができ、保護者や地域の協力を得ながら活動が広がってきている。

アンケート内容	地域	保護者
海光る町学園は、小学校と中学校の交流活動や乗り入れ授業を通して小学校と中学校のつながりを深めている。（4段階評価）	3. 8	3, 4
	教職員	児童
	3. 7	3. 6

【R1 学園評価より】

- 校内研究は算数科2年目。全学年で共通理解して学力向上に取り組む「楠っ子スタイル」を確立し、全校で統一した指導を行うことができた。学習規律も身につく、子どもの学びに向かう姿勢や学習意欲に高まりがみられる。また、授業実践を通して新たに指導法が開発され、次年度は新バージョンとなる「楠っ子スタイル」での授業実践の充実が期待される。

- ①楠っ子の筆箱・道具箱の約束
- ②家庭学習（宿題・自主学習）の手引き
- ③算数ノートのつくり方
- ④筆算の仕方
- ⑤文章問題の解き方
- ⑥説明の仕方

【楠っ子スタイルの内容】

- 学園運営協議会と別に、本校の地域人材を中心としたかがやき会議を年3回開催した。学校経営方針の理解とともに、「授業参観」「クラブ活動参観」「交流給食」を行った。地域での子どもたちの生活の様子や安全面についての情報を共有し地域ぐるみで子供たちを支える基盤づくりができた。

4 おわりに

今年度も小中一貫型コミュニティ・スクール「海光る町学園」として、昨年度までの地域学校協働活動の実践継続に加え、乗り入れ授業の充実を図ることができた。また、地域学校協働本部との連携で地域人材の拡充を図ることができたのは大きな成果である。次年度も、課題を改善しながら、さらに地域とともにある学校づくりに取り組んでいきたい。